

# 2019

# ThreeBond

## RACE REPORT

### Vol.03



### 第6戦/第7戦/第8戦 6月8日(土)/6月9日(日) 岡山国際サーキット

〒701-2612 岡山県美作市滝宮 1210 番地

TEL: 0868-74-3311

<http://www.okayama-international-circuit.jp/>

### at OKAYAMA



コース全長 : 3,703m  
コース幅 : 12~15m  
高低差 : 29m  
直線長 : 約600m(メインストレート)  
約700m(バックストレート)

FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS  
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS  
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

## 苦戦の岡山…

全日本 F3 選手権シリーズ Round 3 (第 6 戦、第 7 戦、第 8 戦) が、6 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日) にかけて岡山県の岡山国際サーキットで開催された。  
#12 大津弘樹選手、#13 三浦愛選手の 2 台体制でこのレースに参戦し開幕以来、#12 大津選手は車両に発生する原因不明の振動に悩んできたが、前大会終了後、スペアエンジンへ換装してテストを行い好感触を得たため、本大会に向けてはスペアエンジンを使用することに決めた。この結果、競技規則の規定により第 6 戦の決勝レースではスターティンググリッド 5 グリッド降格のペナルティを受けることになった。

## #12 大津選手 予選 7 番手

## #13 三浦選手 予選 13 番手

## ▽公式予選

公式予選は 6 月 8 日 (土) 午前 9 時 25 分から始まった。公式予選に先立ち 6 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金) には合わせて 4 セッションの専有走行が行われた。

#12 大津選手と#13 三浦選手は練習走行を重ね、セッティングを進めたが、6 月 6 日 (木) は快晴だったものの 6 月 7 日 (金) は雨となり、コンディションが変転してなかなかセッティングは思い通りにまとまらない。そのうち、エンジンを換装して快調だった#12 大津選手のマシンに再び原因不明の振動が発生、万全の状態には届かないまま公式予選を迎えることになった。

公式予選を迎えた 6 月 8 日 (土) は、雲があるものの青空が広がるドライコンディションとなった。#12 大津選手、#13 三浦選手ともニュータイヤを装着してコースインした。しかし#12 大津選手はコースイン直後にボディの一部が脱落するトラブルが発生、一旦ピットへ戻って修復した後、改めてタイムアタックを行った。一方#13 三浦選手は、タイムアタックに向けて思い切ったセッティング変更を行ったが裏目に出てしまいペースが上げられない。さらにタイムアタック中にコース上で黄旗が提示されてやり直しを強いられるなどの不運も重なった。

#12 大津選手、#13 三浦選手とも 3 セットのニュータイヤのうち 1 セットを決勝レースに温存する作戦をとり、2 セット用いて 2 回のタイムアタックを行った。その結果、スターティンググリッドは第 6 戦では#12 大津選手が 7 番手、#13 三浦選手が 13 番手。第 7 戦では#12 大津選手が 8 番手、#13 三浦選手が 13 番手と決まった。



## &lt;第 6 戦&gt; 予選結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	1'22.270
2	片山 義章	1'22.564
3	宮田 莉朋	1'22.652
4	Charles Milesi	1'22.697
5	Enaam Ahmed	1'22.707
6	阪口 晴南	1'22.852
7	大津 弘樹	1'23.220
8	大湯 都史樹	1'23.295
9	Ameya Vaidyanathan	1'23.446
10	河野 駿佑	1'23.573
⋮		
13	三浦 愛	1'24'438

## &lt;第 7 戦&gt; 予選結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	1'22.431
2	宮田 莉朋	1'22.657
3	片山 義章	1'22.660
4	阪口 晴南	1'22.862
5	Enaam Ahmed	1'23.037
6	Charles Milesi	1'23.117
7	大湯 都史樹	1'23.304
8	大津 弘樹	1'23.312
9	Ameya Vaidyanathan	1'23.616
10	河野 駿佑	1'23.680
⋮		
13	三浦 愛	1'24'563



## RACE REPORT

### 第6戦 決勝 Race

天候：晴れ  
気温：21℃

### 抜けない岡山。

#### ▽第6戦

6月8日（土）午後2時40分、25周の第6戦決勝レースが始まった。

温存したニュータイヤは、レースウィークに行われる3レースのうち最も周回数の多い第6戦で使用するのがセオリーだが、#12 大津選手はエンジン換装のペナルティで5グリッド降格が決まっており、12番手からのスタートとなることから、ニュータイヤは温存してユーズドタイヤを装着、グリッドについた。

一方#13 三浦選手はセオリー通り残ったニュータイヤを装着してスタートに臨んだ。

スタートで#12 大津選手は1つポジションを上げ、さらにジャンプスタートペナルティを受けた選手がいたため3周目には10番手、4周目には9番手に進出した。#13 三浦選手は12番手で走行を始めた。

前日再発したマシンの振動は、ドライコンディションとなった8日は収まり、#12 大津選手のペースは上がり、さらに8番手の選手に迫った。しかし狭く曲がりくねった岡山国際サーキットでは接近するとダウンフォースが抜けてなかなかオーバーテイクには至らない。結局#12 大津選手は9番手のまま25周を走りきってチェッカーフラッグを受けることになった。

#13 三浦選手は12番手で周回を重ねたが、ジャンプスタートペナルティを受けて遅れた選手が後方から追い上げを開始、14周目に順位を13番手に落としてそのままレースを終えた。



#### 第6戦 決勝結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	34'59.734
2	片山 義章	35'13.592
3	宮田 莉朋	35'13.777
4	Charles Milesi	35'19.712
5	小高一斗	35'20.341
6	大湯 都史樹	35'21.330
7	河野 駿佑	35'29.763
8	Aranya Vaidyanathan	35'34.770
9	大津 弘樹	35'35.252
10	Enaam Ahmed	35'41.485
⋮		
13	三浦 愛	35'53'363



## 第7戦 決勝 Race



## 両選手ともにペース上がらず。

## ▽第7戦

6月9日(日)、雲はあるものの初夏の太陽が差す好天となった。

午前10時から始まる第7戦は前日より短い18週のレースとなる。

第6戦を9位で終えた#12 大津選手は第9戦を9番手からスタートすることになったので、チームはより上位の8番手からスタートする第7戦に温存していたニュータイヤを投入することに決めた。

スタートが切られ、#12 大津選手、#13 三浦選手ともにうまく加速すると#12 大津選手はポジションを1つ上げ、7番手、#13 三浦選手はポジションを2つ上げ11番手でレースを始めた。

#13 三浦選手は7周目に12番手へ後退したが#12 大津選手は7番手を守り、前を行くマシンを追うがジリジリと間隔は開いていった。ニュータイヤを装着したものの、マシンのバランスが崩れオーバーステア傾向が強まってタイヤに無理がかかり始めたのだ。

#12 大津選手は、後方から迫ってくる選手を押さえながら、前を行く選手を追った。しかし13周目の第1コーナー、オーバーステアが出た際にカウンターステアを当てるとマシンは#12 大津選手の予期しなかった反応を示して逆に振られ、#13 大津選手はそのままコースオフしてスポンジバリアに突っ込んで止まった。#12 大津選手のレースはここで終わった。

#12 大津選手のマシンを回収するためコースにはセーフティカーがコースイン、隊列走行が始まった。レースは17周終了のフィニッシュまで1周時点で再開された。

11番手から再スタートした#13 三浦選手は11番手を守ってチェッカーフラッグを受けた。



## 第7戦 決勝結果

Pos	Driver	Time
1	宮田 莉朋	29'59.561
2	Sacha Fenestraz	30'00.487
3	阪口 晴南	30'01.329
4	片山 義章	30'02.120
5	Charles Milesi	30'03.082
6	大湯 都史樹	30'04.151
7	Enaam Ahmed	30'04.613
8	河野 駿佑	30'05.279
9	山口 大陸	30'06.960
10	DRAGON	30'07.507
11	三浦 愛	30'09'532
DNF	大津 弘樹	-

FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS  
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS  
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボビタンD

# 2019

# ThreeBond

## RACE REPORT

### 第8戦 決勝 Race

#### すべては予選結果…

天候：晴れ  
気温：26℃

#### ▽第8戦

6月9日（日）午後2時15分、第3大会3レース目のシリーズ第8戦が始まった。

第7戦と同じ18周で行われるこのレースのスターティンググリッドは、前日に行われた第6戦の決勝レース順位で決まるので、#12 大津選手は9番手、#13 三浦選手は13番手からのスタートとなる。コースには午前中と同じ初夏の太陽が照りつけコースはドライコンディションである。スタート合図とともに#12 大津選手は好スタートを切り、一旦2つ順位を上げるがアトウッドコーナーで逆襲を受け8番手でダブルヘアピンへ進入した。そのとき後方からブレーキをロックさせて減速できなかったマシンがイン側から#12 大津選手のマシンに乗り上げ、そのまま#12 大津選手のマシンを飛び越えてコースオフしていった。#12 大津選手は失速したもののかろうじてコースに留まり、12番手まで順位を落としながらレースを続行した。

一方#13 三浦選手は#12 大津選手のアクシデントで2つ順位を上げ1周目を11番手で終えたが、2周目には後方からペースを取り戻した#12 大津選手が接近、ポジションを入れ替えて12番手に後退した。

11番手に進出した#12 大津選手のペースは上がり、7周目には10番手、11周目には9番手へと順位を回復、さらに前に行くマシンとの間隔を周回毎に縮めていった。しかし1秒強まで迫ったところでチェッカーフラッグが振り下ろされた。

#13 三浦選手も前に行くマシンに迫ったが0秒171差で順位を入れ替えることはできず12位でレースを終えた。

「今回、持ち込みからいろいろセッティングを変えて、ようやく最後のレースで良い方向が見えたので、そこを活かすように次のレースに向けてクルマを仕上げていきます」と#13 三浦選手を担当する鄭永薫エンジニアは言う。

一方#12 大津選手を担当する伊与木仁エンジニアは

「今回は予選がすべてでした。必ずしも完調ではありませんでしたが、決勝レース中のラップタイムを見ると5番手、6番手は狙えるパフォーマンスが出ていました。振動の原因を突き止めて次のレースでは上位を狙います」とレースを締めくくった。次戦シリーズRound 4は、6月22日から23日、宮城県のスポーツランド SUGO で開催される。



#### 第8戦 決勝結果

Pos	Driver	Time
1	片山 義章	25'22.439
2	Sacha Fenestraz	25'23.387
3	宮田 莉朋	25'24.063
4	阪口 晴南	25'28.237
5	Charles Milesi	25'31.072
6	大湯 都史樹	25'35.210
7	河野 駿佑	25'41.182
8	Ameya Vaidyanathan	25'45.793
9	大津 弘樹	25'46.894
10	DRAGON	25'58.324
:		
13	三浦 愛	26'04'829

FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS  
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS  
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボヒタンD

# 2019

# ThreeBond

## RACE REPORT

### ドライバーコメント

#### ▽ #12 大津 弘樹選手

予選はコンディションが変わって非常に難しい状況でした。ベストをつなげられただけでも上位に行けたはずなのですが…コンディションに適應できませんでした。

第7戦は、自分のミスでコースアウトしてしまいました。攻めどころを見極めるべきでした。第8戦は第7戦で発生したオーバーステアを軽減するためにセットを直した結果、かなり良い方向へ行っていて、トップ集団に匹敵するペースには乗せられました。良い感触をつかめたので、次回のレースが行われるスポーツランド SUGO は一昨年優勝したコースでもありますから、上位を狙って頑張ります。

#### ▽ #13 三浦 愛選手

木曜日から、セッティングを探りながら走ったのですが、うまく決まらないまま予選になってしまいました。方向性が見えなかったのが土曜日の朝になって、敢えて大きくセットを変更して予選に臨みました。でもそれが外れてしまったのか、前日に強い雨が降ったために路面コンディションが変わってしまったのか、予選では非常に乗りにくいクルマになってしまいました。自分のドライビングにも問題があってタイムを出し切れませんでした。岡山は得意なサーキットだったのですが、残念な週末でした。



FUJI XEROX  
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI  
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK  
SPARK PLUGS

SUNTORY  
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS  
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP  
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

## RACE REPORT

### ▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山			SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山										
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8														73	—
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5														43	30
4	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1														29	44
3	片山 義章/Yoshiaki Katayama	0	0	0	0	3	7	3	10														23	50
5	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF														22	51
6	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0														10	63
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0														0	73

\*DNS : Do Not Start 棄権 \*DNF : Do Not Finish リタイア \*DSQ : Disqualified 失格

\*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

### ▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山			SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山										
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7														71	—
2	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5														41	30
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1														29	42
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10														24	47
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0														10	61
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0														8	63

